未来につなぐ　四国創生

四国地区 特集

近年、全国的に外国人観光客数は増加傾向だが、四国地域においても四国運輸局が行った2024年旅行宿泊統計調査によると、同年の四国地域における外国人延べ宿泊者数は約166万人で、コロナ禍前の19年比で36.8%増加。23年比では、全国平均39.7%増に対し、四国地域は80.7%増と大幅に増加している。メジャーな観光地はもとより、日本人にも知られていない場所や、その場所でしかできない体験を求めて多くの外国人観光客が訪れている。

四国経済産業局長　吉田 健一郎氏

成長力強化へ施策を総動員

我が国経済は今、２年連続で高い賃上げ率が実現するなど、成長と分配の好循環が動き始めています。デフレに後戻りさせず、成長型経済への移行を確実なものとするため、四国においても成長力を強化していく必要があります。

四国経済産業局といたしましては、「賃上げこそが成長戦略の要」との認識の下、中小・小規模事業者の賃上げを促進するため、適切な価格転嫁や生産性向上、経営基盤を強化する事業承継・M&A（合併・買収）を後押しするなど、施策を総動員していきます。企業の稼ぐ力の向上に向け、グリーン・トランスフォーメーション（GX）、デジタル変革（DX）、スタートアップ、経済安全保障等の分野においても取り組みを進めます。

さて、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに開催された大阪・関西万博では、四国からも、地域の伝統文化が多くの来場者を魅了したほか、万博の施設や運営への資材の提供、農産品などの地域資源を活用したさまざまな新商品や新サービスの展示が行われました。当局としても、モノづくり企業と学生が共創し、地域課題の解決に挑戦するオープンファクトリーを発信したところです。

世界に誇れる四国の魅力はたくさんあります。我々は、地方に立地する政府機関として、地域経済をけん引する地域の素晴らしい取り組みに最も身近な立場で伴走し、地域経済の好循環の実現、四国経済の活性化に向けて、これからも邁進（まいしん）してまいります。

四国経済連合会会長　長井 啓介氏

将来像実現に向け活動拡充

四国経済連合会では、2022年4月、急速に進む人口減少・高齢化を乗り越え、新たな視点から四国創生に取り組むための道標として「四国が目指す将来像」を公表しました。その実現に向け抽出したアクションテーマの具体化については、「産業振興」、「観光振興」、「DX推進」、「人口減少対策」の四つの委員会を中心に取り組んでいます。

例えば、グリーン・トランスフォーメーション（GX）に関しては、産学官の実務者を中心に構成する「脱炭素推進研究会」などにおいて、知見の共有やマッチングに取り組んでいます。また、ダイバーシティー・エクイティ&インクルージョンについては、女性や高度外国人材の活躍推進につながるフォーラムや交流会を開催しています。さらに、オンラインマッチングイベントUIJターン就職促進などにも注力しています。

当会では、四国創生の思いを共有する幅広い主体との連携強化などにより、将来像実現に向けた活動内容のレベルアップを図りたいと考えておりますので、地域の各界各層の方々のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

各県の訪日外国人に人気の観光スポット

香川県高松市にある特別名勝「栗林公園」。香川県によると、2024年の県外観光客入込数（訪日外国人含む）は前年比3.5%増で、栗林公園は同8.7%増加。高松空港の国際線新規就航・増便等によるインバウンドの増加も数字を押し上げた要因（提供・公益社団法人香川県観光協会）

徳島県鳴門市の伝統工芸品「大谷焼」の窯元では、陶芸体験に訪れる外国人旅行客が近年増加しており、大阪・関西万博期間中は特に賑わった

高知県の伝統工芸品「土佐打刃物」づくりの一日体験は、欧米の観光客に人気が高い（提供・ＶＩＳＩＴ　ＫＯＣＨＩ　ＪＡＰＡＮ）

愛媛県内子町の町並み保存地区の外れにある「高昌寺」は室町時代の創建。日本最大級の石造涅槃仏が韓国のインフルエンサーに取り上げられた影響で韓国からの旅行者が大幅に増加している

地域企業を支える支援機関

日本政策金融公庫

▲危機事象発生における業務連携に関する覚書締結式の様子

民間金融と危機事象発生時連携

日本政策金融公庫（日本公庫）は、地域経済を支える中小企業・小規模事業者の皆さまの資金繰りを支えるセーフティーネット機能の役割を担うとともに、成長・発展に資する政策金融支援を行っている。

コロナ禍は落ち着きを見せ、経済活動が正常化に進んではいるものの、物価高や人手不足など、四国経済を支える多くの事業者の皆さまを取り巻く経済環境は常に変化し、経営課題は多様化・複雑化している。

昨今、自然災害の発生や、サイバー攻撃など危機事象が発生している。昨年の日向灘を震源とする地震では、南海トラフ地震臨時情報が発表されるなど、四国においても自然災害の発生は予断を許さない状況だ。

危機事象発生時に、日本公庫および民間金融機関が有する金融機能・コンサルティング機能をおのおのが発揮することが、早期の事業者支援に資することから、現在、日本公庫と民間金融機関において、「危機事象発生における業務連携に関する覚書」の締結を進めている。

本覚書を締結し、事前に危機発生時の金融面における連携方針を定めておくことで、危機事象の発生時においても、地域の事業者へおのおのの強みやノウハウを生かした切れ目のない金融サービスを提供できる体制の整備に繋がると考えている。

その他にも、創業・新事業・スタートアップや事業承継、輸出促進等海外展開、地域の活力を維持する事業再生、農林水産事業者支援等、成長分野等への資金供給のほか、販路開拓・DX化への対応など経営課題の解決に資する対応も迅速かつ的確に展開し、四国経済の成長・発展に貢献していく。

経営課題解決へ迅速に対応

「政策金融の担い手として、安心と挑戦を支え、共に未来を創る」を使命とし、地域の関係機関と連携するとともに、全国152支店のネットワークも活用し、四国地域のお客さまのニーズに対応していく。

中小企業基盤整備機構四国本部

▲中小企業の悩み事解決に向けてサポートを行う中小機構四国本部のメンバーら

成長に向けた伴走支援を実施

中小企業基盤整備機構（中小機構）は、国の政策実施機関として全国に九つの地域本部を設置し、各地域の支援機関などと連携しながら、中小企業者の創業期から成熟期に至るまでの各ステージに合わせた支援事業を展開している。四国地域には、四国本部（高松市）が設置され、域内の多くの中小企業者を支援している。

近年の中小企業者の課題は、原材料価格の高騰、人材不足、賃上げなど多岐にわたり、かつ複雑化している。四国本部では、中小企業者に寄り添ってこうした課題を解決するとともに、更なる成長に向けたサポートを実施している。

具体的には「ハンズオン支援事業」として、生産性の向上やコスト削減を目指した生産工程や在庫管理の見直し、原価管理の徹底などについて専門家を派遣。経営者をはじめとする関係者とともに課題を深堀りした上で、企業自らが実践し、課題解決力を身につける「仕組みづくり」をするのが特徴だ。

また、課題解決に向けた人材育成支援として、「中小企業大学校四国キャンパス」がある。四国キャンパスでは、組織マネジメント、企業経営・経営戦略、人事組織、財務管理などの分野について、階層別の研修コースを提供している。研修は講義だけでなく、実習も含めた実践的なものであり、研修後に自社においてすぐに役立てるように工夫がされている。

これら二つの事業以外でも、新市場開拓に向けた海外展開支援や人材不足に向けたIT化への相談対応、更には自然災害等の発生に備えた事業継続力強化計画の策定支援など、さまざまな支援事業を展開している。

役立つ実践的な研修コース提供

経営者は多忙であり、多様で複雑な課題に一人で対応することは難しい。悩みを一人で抱えず、四国本部の無料経営相談窓口（087・811・1752）を利用して自社の課題を整理することが解決に向けた第一歩となる。

産業技術総合研究所四国センター

▲昨年11月に開催した「四国オープンイノベーションワークショップ」のポスターセッションの会場

地域課題に先端技術で挑む

産業技術総合研究所（産総研）は、経済および社会の発展に資する科学技術の研究開発などを総合的に行う日本最大級の公的研究機関として、「社会課題の解決」と「我が国の産業競争力強化」をミッションに、世界水準の研究成果の創出と社会実装に取り組んでいる。

産総研四国センターでは「100歳を健幸に生きるための技術開発」を掲げ、少子高齢化に伴う医療従事者不足や医療過疎化など、地域特有の課題に対応。先進医療・ヘルスケア技術の開発と実装に注力するほか、全国12拠点8領域にまたがる産総研の専門知識や技術を生かして、地域課題解決に貢献できる連携体制を整え、四国発のイノベーション創出を目指している。

最近では、歩行解析による高齢2型糖尿病患者のサルコペニア早期発見に有効なデジタルバイオマーカーの可能性を発見。また、再生医療や高度な医薬品開発への応用が期待される、微小マイクロカプセル作製技術など、先端研究が進展。

また本年度新設された「セルフケア実装センター（生体・運動機能研究チーム）」では、AI（人工知能）を活用した健康度評価モデルの構築と、効果的なコーチングによるセルフケアシステムの基盤技術の整備と実装を推進。

さらに、公設支援機関や大学と連携し、地域企業の課題解決に向けた情報提供と連携促進を行い、地域経済の活性化にも注力。昨年度は四国各県で無料セミナーを開催し、徳島県のバッテリーバレイ構想と連携した講演会では100人超が会場参加。四国6大学共催のオープンイノベーションワークショップも毎年開催しており、本年度は「ウェルビーイング～四国から考える、食と心の豊かさ―」をテーマに愛媛大学（松山市）で11月26日（水）に開催予定。

26日開催 食と心の豊かさ

産総研四国センターは、四国の未来を見据え、「多様化する健康課題に先回りする先進医療・ヘルスケア技術の開発」を推進している。

四国地区特集

四国化成

四国化成ホールディングス株式会社　香川県丸亀市土器町東八丁目537番地1　TEL 0877-22-4111　https://www.shikoku.co.jp

【四国化成グループ】
四国化成工業株式会社　シコク興産株式会社　SHIKOKU INTERNATIONAL CORPORATION　シコク硫炭株式会社　増田化学工業株式会社　SHIKOKU INDIA PVT.LTD.　株式会社丹羽久
四国化成建材株式会社　シコク景材株式会社　シコク景材関東株式会社　シコク工機株式会社　菱和化成工業株式会社
四国化成コーポレートサービス株式会社　シコク・システム工房株式会社　シコク・フーズ商事株式会社　シコク・フーズ保険サービス株式会社　シコク分析センター株式会社　シコク環境ビジネス株式会社　四国化成（上海）貿易有限公司

JFC 日本政策金融公庫

日本公庫は、お客さまの夢の実現をお手伝いします。

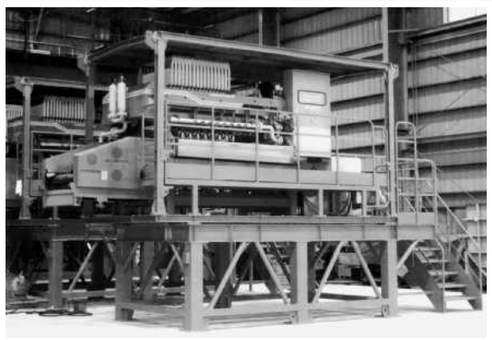
事業資金相談ダイヤル（行こうよ！　公庫）
0120-154-505

徳島支店　高松支店　松山支店　宇和島支店　新居浜支店　高知支店

有力企業の最新トピックス（順不同）

二本鉄工

加圧脱水で廃棄費用低減


SE－750WA型

二本鉄工（香川県さぬき市、中村達弥社長）は、汚泥を濾過室という限られた空間に詰め込み、加圧して脱水処理する全自動圧縮型フィルタープレス脱水装置「SE－750WA型」を発売した。

濾過室内の濾材に高圧エアを圧入して残さを圧縮することで、従来機と比べて残さの水分量を約8%削減し、剥離性を向上させた。水分量を削減することで、残さの廃棄費用低減につなげる。消費税抜きの価格は約2000万円。

高圧エアを利用して処理槽内にある濾過フィルターの目詰まり除去もでき、従来機では3カ月ごとに必要だったフィルター交換作業が約1年不要になった。一度に最大約3000㍑の汚泥処理が可能。その場合の脱水時間は、従来機の78分に対して47分に短縮した。残さの含水量は従来機の39%に対して31%に低減した。

西岡鉄工所

最新パンチ・レーザー複合機導入

導入したパンチ・レーザー複合機

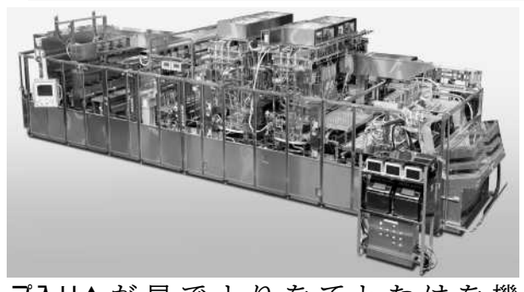
西岡鉄工所（愛媛県新居浜市、西岡圭社長）は、本社工場にアマダ製のファイバーレーザー搭載の板金加工用パンチ・レーザー複合機を導入した。鉄や銅、チタンなどの薄板板金加工の生産能力を従来比5割程度引き上げ、配電盤や制御盤向けのほか、食品や医療、半導体関連部品など幅広い分野の量産品の新規受注増を目指す。

導入したパンチ・レーザー複合機は、省エネ・低コストで高品質な長時間連続運転が可能。加工時間は既存機と比べて約半分に短縮できる。金型自動交換装置を使って夜間稼働を増やし、稼働率を向上させる。

同社は、2023年にグループ会社の西機電装（同市）の黒島工場（同市）を建設し、粉体焼け付け塗装能力を従来比2倍に引き上げた。最新のパンチ・レーザー複合機の導入により、板金加工から塗装までの一貫生産能力の増強につなげる。

四国化工機

リニア搬送式充填機を開発


▲リニア搬送を取り入れた直列型カップ充填機

四国化工機（徳島県北島町、植田滋社長）は、リニア搬送を取り入れた直列型カップ充填機を開発した。工場のスペース当たりの生産性を大幅に上げることが求められる中、同機はこれらの課題を解決する。同機は、カップを載せたホルダープレートの移動手段としてリニアモーターを使用。それにより、ホルダープレートを個別に制御でき、各工程に素早く搬送することが可能になったことで、1時間当たりの生産能力は既存機の1・5倍である2万4000個に向上した。ホルダープレートの枚数も既存機の約7分の1に削減。容器の型替え時のホルダープレートの交換作業を短縮できる。

また、同機よりコンパクトで、カップ以外にボトルやパウチなど多品種を効率的に生産できるオーバル型カップ充填機も同時開発した。これら2機種を国内のみならず海外にも展開する構えだ。

技研製作所

巨大市場インドへ本格参入

杭圧入引抜機「サイレントパイラー」（インドでの施工の様子）

技研製作所は、世界第5位の経済大国・インドへの本格参入を加速させている。同国のプレキャスコンクリート製造企業と連携体制を築き、本年7月には西部アーメダバードに拠点となる連絡事務所を開設。同社と市場調査を進め、急激な都市開発に伴うインフラ整備や防災事業への工法採用を目指している。

2021年以降、現地建設会社に杭圧入引抜機「サイレントパイラー」を納入するなど販売・保守事業に力を入れていたが、今後は販売先を増やすだけでなく、発注者となる自治体やゼネコンへの働き掛けを強め、技研製作所の工法が持つ「無振動・無騒音」「仮設レス施工」といった優位性を積極的にアピールしていく狙い。

インド政府は、47年の独立100周年に向け経済・社会基盤の強化を本格化させ、製造業を中心とした海外企業の進出も奨励している。未開拓の巨大市場でシェア拡大に期待が掛かる。

タステム

自立型組織確立に向けて人材育成に注力

研修を通じて次代のリーダーを育成

タステム（愛媛県新居浜市、高橋卓也社長）は、本年6月にアマダ製の小型形鋼バンドソーを導入した。角度旋回機構搭載で、高精度・高速切断で、60度の勾配までの切断を可能にした。

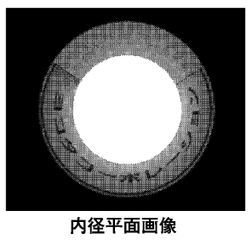
昨年9月に社長に就任した高橋社長は、「相互の信頼と尊敬（尊重）を基調とし、新たな価値と人材を創造し社会に貢献する」を経営理念に掲げ、副社長時代から取り組む人材教育に注力している。

同社では、2023年から自立型組織の確立に向けて社内研修を実施している。自立型組織研修は、自身の能力は自学、経験、環境によって向上できるという思考を取り入れ、積極的に挑戦する、自主的な意識へ変革する研修。3年目の本年は、1期生から3期生までのメンバーで、6月に合同宿泊研修を行った。10月には「真のリーダーの道」をテーマに3期生を対象とした宿泊研修を実施し、次代を担うリーダー育成に取り組む。

自動化設備の設計製作　内径検査装置『FLAT VIEW』　YOKOTA CORPORATION

内径の傷や圧痕を平面画像として捉え検査する

サンプルワーク


内径平面画像

目視が困難な内径の外観検査を自動化
●しきい値を設定することで、ご要望に応じた良否判定が可能
●約0.5秒の高速検査
●検査データを製造工程へフィードバック
●非破壊・非接触、無回転で検査可能

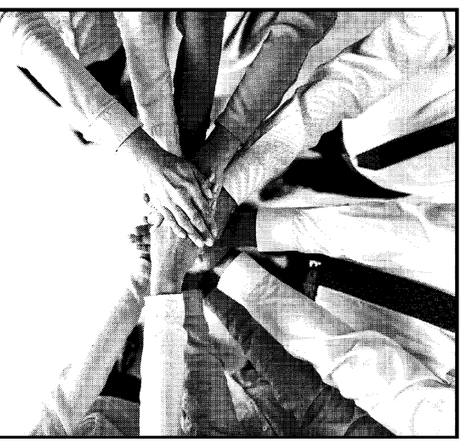
〔FA設備の設計製作〕
○自動組立機 ○自動検査機 ○工作機械
〔精密部品加工〕
○ベアリングレース加工 ○自動車部品等精密加工

株式会社ヨコタコーポレーション
〒779-3306 徳島県吉野川市川島町学字辻4-2 TEL:0883-25-2121／FAX:0883-25-4549 URL https://www.yokota-inc.com

四国地区特集

未来につなぐ四国創生

いい未来の予感がする。
夢がある。技術がある。未来ができる。
大倉工業
本　社/〒763-8508 香川県丸亀市中津町1515番地
TEL 0877-56-1111 https://www.okr-ind.co.jp/

その手に、挑戦力。
どんな時代でも、前向きに挑戦を続ける経営者様を全力でサポートしたい。
私たちは、中小機構四国本部です。

Be a Great Small. 中小機構
独立行政法人 中小企業基盤整備機構（中小機構） 四国本部
電話:087-811-1752
無料経営相談のお申込みは ▶

足腰が冷えて冬場がつらいとお悩みのあなたへ
防寒用巻きエプロン
「あったかロンジー」
下半身の冷え対策に
●裏地は暖かく肌触りの柔らかいフリース素材。
表地は暴風・撥水機能のあるナイロン素材
●ハンドウォーマー兼用の大型ポケット付き
●ロング＆ワイドタイプで、腰周りから足元までしっかりカバー
●無地・チャック柄など豊富なカラーバリエーション
●敷物・下半身保護など災害時の避難生活にもご使用いただけます

CSF 有限会社 山本縫製工場
CUSTOM MADE SEWING FACTORY
〒762-0034 香川県坂出市福江町2丁目5-9
TEL 0877-46-4758 FAX 0877-46-4030
https://www.csf-yamamoto.com

有力企業の最新トピックス （順不同）

ヨコタコーポレーション

新工場稼働、生産能力増強

ヨコタコーポレーションの新工場（市場第3工場）

ヨコタコーポレーション（徳島県吉野川市、横田勝己社長）が自動車の軸受部品の生産性向上や電気自動車（EV）向けの新規受注を目的に市場工場（同阿波市）に新設した第3工場が本年10月に稼働を始めた。投資額は約13億円で、外径60ミリ～120ミリメートルのシングルボールベアリングとクロスローラーベアリングを生産する。

新工場の延べ床面積は約2883平方メートルで、研磨工程を集約するとともに、現状の8ラインから10ラインに増設し、月間生産能力を800万個に引き上げた。その後に川島工場（吉野川市）の2ライン、市場工場第1工場の6ラインの研磨工程を順次移設し、来年度には全10ラインで稼働する計画。

EVやHV向け軸受部品の旋削ラインを6ライン新設。生産能力は月間100万セットで、新市場の開拓にも注力する。

大倉工業

加圧熱水抽出技術ブランド化

▲機能性成分抽出技術のブランド「ByoByou」

大倉工業は、加圧熱水抽出法を応用した独自の機能性成分抽出技術の開発を進めている。このたび四国産業・技術振興センターの支援を受け、四国経済産業局のフードイノベーション事業の一環として、香川大学創造工学部石塚昭彦研究室と連携し、同技術のブランドを「ByoByou」とした。

由来は、水面が果てしなく広がるという意味を持つ言葉である「淼淼（びょうびょう）」から、「当社の抽出技術が新たな価値を生み出し、海原に光が満ちるが如く世界に浸透してほしい」という思いを込めた。ロゴマークは、加圧熱水抽出技術によって抽出される代表的な機能性成分であるポリフェノールのベンゼン環をモチーフとし、主溶媒として水を使用することから、水面に差す光の部分で「水」という漢字を表現。今後、同ブランド認知度を高め、業界での差別化を図っていく考えだ。

山本縫製工場

頭部の汗・保冷剤の結露吸収

▲アイス枕カバー「E寝！」

山本縫製工場（香川県坂出市、山本益美社長）のアイス枕カバー「E寝！」は、発熱時などに使用するゲル状の冷却剤を包む枕カバー。保冷効果の持続と頭部が濡れないことで、発熱時だけでは無く夏場の寝苦しさの解消や夜間の熱中症予防にも効果を発揮する。

芯材は、頭部の汗と保冷剤に付着する結露をどちらも吸収する綿の7倍の保水力を持つ特殊吸水繊維素材を採用。

表面素材には、べたつかずサラリとした肌触りの優れた速乾性の高い素材を組み合わせて袋状に縫製した。保冷効果は約6時間持続する。

また、アトピーや敏感肌の人向けに、表面生地にレーヨンに天然の保湿成分「スクワラン」を練り込んだ機能性素材を使用した4層構造の高級タイプ「E寝！sp」もラインアップしている。

四国化成ホールディングス

「ソリスルーフ」グッドデザイン賞受賞

▲太陽光発電一体型カーポート「ソリスルーフ」

四国化成ホールディングスのグループ会社である四国化成建材（香川県丸亀市、眞鍋宣訓社長）の太陽光発電一体型カーポート「ソリスルーフ」が2025年度グッドデザイン賞（主催・日本デザイン振興会）を受賞した。

ソリスルーフは、屋根とソーラーパネルを一体化することで、これまでにないスマートなデザインを実現。審査員からは、従来のソーラーカーポートが抱えていた「景観への馴染みにくさ」や「利便性の低さ」を後方支持構造と配線・雨樋の隠蔽（いんぺい）設計によって解決した点が高く評価された。

同社は1972年に国内初の「アコーディオン門扉」を考案し、エクステリア市場に参入。84年にアコーディオン門扉「ルビコン11型」で業界初のグッドデザイン商品（現グッドデザイン賞）に認定され、今回で11回目の受賞となる。

タダノ

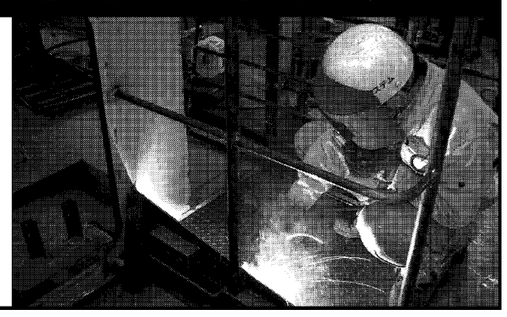
志度工場にメガソーラー導入

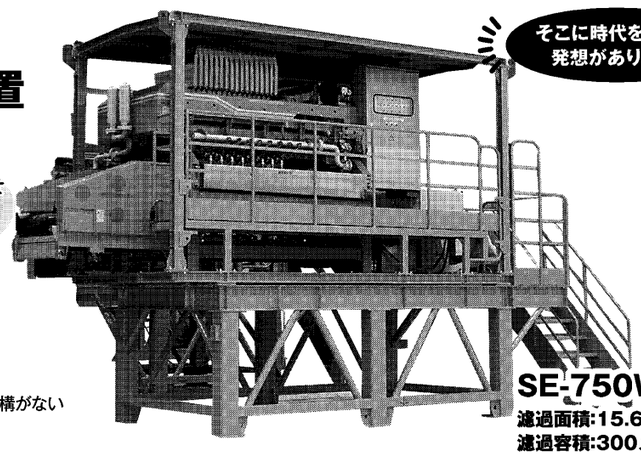
志度工場の屋根に最大出力1593kWの太陽光発電設備を設置

タダノは、「Reaching new heights」をスローガンに業界のリーディングカンパニーとして、顧客の安全と地球環境に配慮した新たな価値を提供するための取り組みを推進している。

二酸化炭素（CO_2）排出量については、長期環境目標で2030年までに事業活動による排出を25%削減（19年度比）、製品による排出を35%削減（同）を設定し、「2050年カーボンネットゼロ」を目指している。

取り組みの一環として、同社は志度工場（香川県さぬき市）に、香川県最大規模となる最大出力1593キロワットの太陽光発電設備を本年7月に導入・運転開始した。260キロワット規模の同設備を08年に設置しているが、新設備の追加により初年度の総発電量は約197万キロワット時、年間およそ889トンのCO_2の削減効果を見込む。工場非稼働日に発生する余剰電力を外部提供することで、地域のCO_2削減にも貢献していく。

荷役運搬設備用運転室、機器カバー、
鋼製建具をはじめとした、
薄板板金加工メーカー。
私たちはお客様の想いを形にします
TAS ZAT Takahashi Advanced Steel System
株式会社 タステム.
〒792-0032
愛媛県新居浜市政枝町3丁目2番1号
TEL:0897-37-1111 FAX:0897-37-1425
http://www.tastem.co.jp


FUTAMOTO
大切な自然と、共に生きるために。 画期的な発想で新しい方式を開発しました!
全自動圧縮型
フィルタープレス脱水装置
★圧縮型とは
濾布裏面より高圧エアーを圧入し濾布自体を膨らせ
濾過室を圧縮させ脱水ケーキの低含水率化、
濾過布の長寿命化を図ります。
《特徴》①含水率の低いケーキが得られる
②濾布の剥離性の向上
③濾布の目詰まり防止
④脱水時間の短縮
⑤従来の様な圧搾板（膜）を使用しないので複雑な機構がない
⑥簡単な操作・単純な機構でメンテナンス性向上

そこに時代を変える発想があります!
SE-750WA-7型
濾過面積:15.6㎡
濾過容積:300ℓ
明日のために 脱水装置・集塵装置の専門メーカー
二本鉄工株式会社 FUTAMOTO IRONWORKS K.K.
本 社 〒769-2104 香川県さぬき市鴨部4839-1
TEL(087)895-4141㈹ FAX(087)895-4151
https://www.futamoto.com

各種カバー・制御盤筐体
薄板製缶品製作・YAGレーザ
ファイバーレーザ溶接加工
株式会社西岡鉄工所
〒792-0893
愛媛県新居浜市多喜浜6丁目6番35号
TEL 0897-46-0303
FAX 0897-45-3534
E-mail：nishioka_iw@g-nishioka.com
http://www.g-nishioka.co.jp

新規板金自動加工システム
稼働開始!!

世界の食を
支えるプライド

スーパーやコンビニに並ぶ数多くの食品。皆様が毎日口にする食品には、わたしたちが密接に関わっています。
液体食品用充填機を製造販売する機械事業、食品用包装資材を製造販売する包装資材事業、「さとの雪」ブランドの豆腐など大豆加工食品を製造販売する食品事業。
四国化工機グループは、機械・包装資材・食品の三事業で皆様の食卓へ美味しさをお届けしています。
世界の食を支えるプライドを胸に、わたしたちは、これからも世界の食文化の未来を創造してまいります。
四国化工機株式会社
Shikoku Kakoki Co.,Ltd.